市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－②	水族館建設推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

本市には海をはじめとした自然豊かな観光資源が豊富にあり、多くの観光客を魅了しているが、雨天、曇天時など、これらを十分に満喫できないときがある。同時に、海に入ることが困難な障がい者や高齢者に対し、本市の海を感じてもらう場の提供が求められている。よって、天候に左右されない観光資源の創出と、障がい者、高齢者等へも安心して海を感じてもらうことを目標に水族館建設を推進する。そのことにより、本市の観光満足度を高めていく。平成２４年度は構想の策定を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,975				
	(b)予算現額	9,881				
	(c)増減額(b-a)	▲ 94	0			
	(d)繰越額	－	9,975			
	A. 計(b+d)	9,881	9,975			
B. 執行済額		0	9,670			
うち交付金充当額		0	7,736			
次年度繰越額		9,975	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	96.9%			
予算の状況の説明		平成24年度の減額94千円については、契約に伴う不要額である。また、最終的な執行額は、県外先進地視察における事務局側の旅費精算及び学識者、有識者による外部委員から構成される「石垣市水族館建設推進計画策定委員会」の委員報酬の欠席に係る減額分を差し引いた額を執行している。 繰越理由としては、水族館建設の根幹となる基本構想の策定にあたり、水族館に必要な設備や立地条件等の調査･研究、データ収集に時間を要したため、繰越事業となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

		達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
水族館の整備方針、機能･規模、建設候補地等建設の可能性調査の実施	目　標	（　調査の実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：石垣市水族館建設推進のため、基本構想を策定した。この基本構想の策定において、整備方針、機能･規模･候補地等を検討し、石垣市水族館建設に係る基本想定を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
水族館の整備方針、機能･規模、建設候補地等建設の可能性調査の実施	目　標	（　）	（調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年9月に基本構想を策定した。この基本構想において、石垣市水族館の活動理念やコンセプト、水族館の適正規模の検討、建設候補地の抽出を行った。今後、基本計画の策定において、詳細な展示や設置主体及び運営主体･手法などについて検討を行う。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①水族館に必要な設備や立地条件等の調査･研究、データ収集に時間を要した。 ②運営主体･手法について、さらに検討を深める必要がある。	①先進水族館施設と連携し、専門的見地から事例やアドバイス等の協力を仰ぐなどし、より具体的なデータを基にして、石垣市水族館建設に反映させる。 ②建設候補地や展示生物の確定を機に、より具体的なイニシャルコストやランニングコストを試算･検討する。また、市の財政負担の軽減や民間活力の活用など、検討する必要がある。

今後の取り組み方針

上記課題の改善のため、基本計画策定においては、先進水族館と連携し、運営や経営手法等の事例等を参考としながら「基本計画」の策定を進める。また、イニシャルコストやランニングコストにおいても、検討を行い、市の財政負担の軽減や民間活力の活用などについても調査･研究する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,670	9,670	7,736	1,934	0

石垣市
9,670千円

委託料
9,670千円

(株)国建
9,670千円

（石垣市水族館建設推進計画作成委託料）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は随意契約により決定している。委託事業者は、県内の水族館において設計の実務経験と実績があり、沖縄の気候風土や飼育環境等を熟知していることから選定しており、随意契約は妥当であったと考えている。 ○予算規模については、国土交通省の設計業務等積算基準を基に積算しているので、適正である。 ○費用･使途については、仕様書に即し、執行されたものであるため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－③	星空学びの部屋事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	日本一の石垣島･八重山諸島の星空を石垣島天文台のむりかぶし望遠鏡と連携して、地域の学校教育、生涯教育に活用するとともに、観光客への広報普及するレクチャールームを設置する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	60,000				
	(b)予算現額	60,000				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	23,723			
	A. 計(b+d)	60,000	23,723			
B. 執行済額		36,277	13,214			
うち交付金充当額		29,021	10,407			
次年度繰越額		23,723				
執行率（%）(B/A)		60.5%	55.7%			
予算の状況の説明		学習用天体望遠鏡システム設置や室内で使用するデーブル･イスの備品購入が遅れたため、25年度へ繰越した。 平成24年度末に執行残等を補正で落としていなかったため、工事請負費の入札残5,700千円、委託料では当初見積りとの差額から4,700千円の執行残があった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
星空学びの部屋の設計及び建築	目　標	（　H25.6.4完了　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：石垣島天文台と連携して地域の学習教育、生涯学習に活用するとともに、新たな観光資源として観光客へ星空の魅力を広報普及するため「星空学びの部屋」を建築した。学習用天体望遠鏡システム設置や室内で使用するデーブル･イスの備品購入が遅れたため25年度へ繰越したが、平成26年6月4日に完了し、同年7月4日にオープニングセレモニーを行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
星空学びの部屋の設計及び建築	目　標	（　-　）	（H25.6.4完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年度の利用者は「星空学びの部屋」の4次元デジタル映像(4D2U)で2,893人。併設の石垣島天文台の入館者は、1万2,915人で初めて1万人を突破し、過去最高となり、市民や観光客に対する星空教育の広報普及に役立っている。

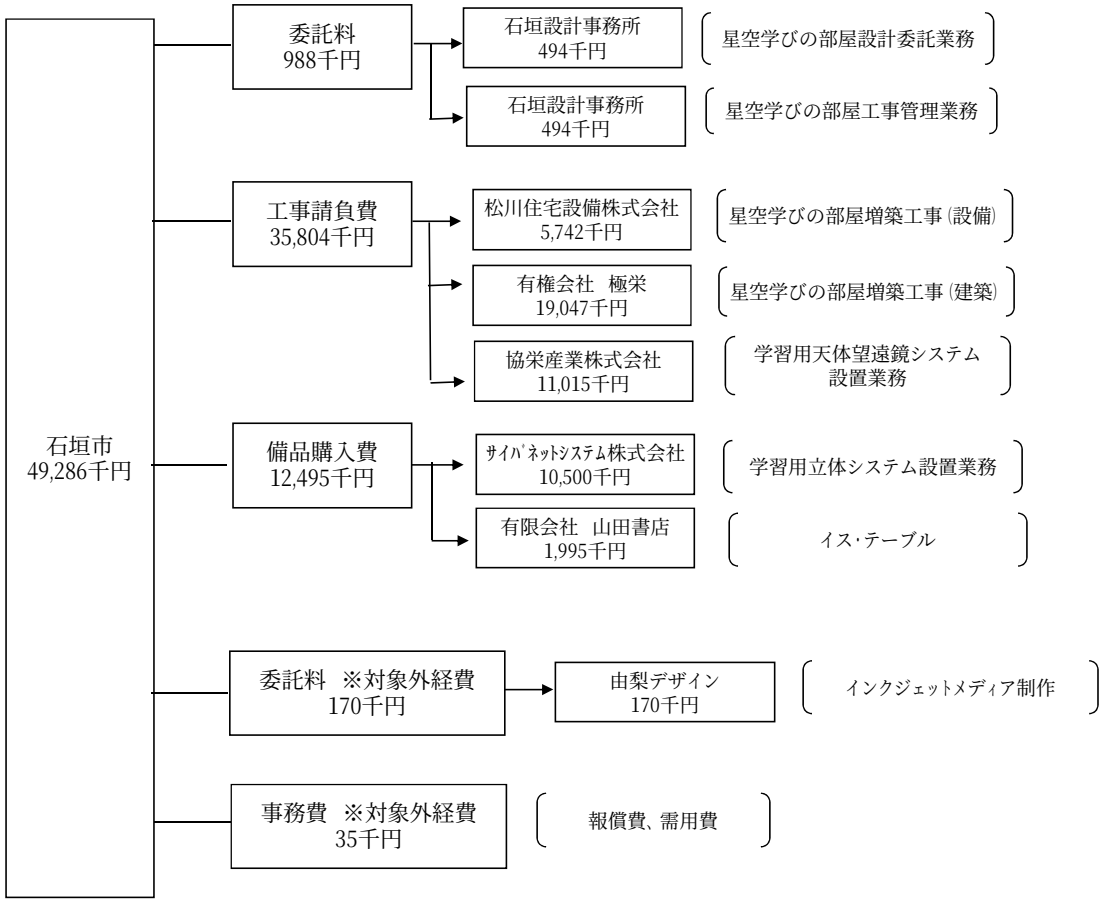
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設計内容について、映像関係器具の収納、望遠鏡備品等の確認に天文台との不測の時間を要して繰越事業となった。 ・運用開始年ということもありまずまずの利用者数であると思われるが、長期にわたって安定した運営を目指すことから、今後は運営財源の確保等運営方法を見直す必要がある。	入館料の徴収など、運営財源確保に向けた取り組みや観光客へ向けた取り組みが必要。

今後の取り組み方針

入館料の徴収を検討する。ターゲットを絞った広報活動を行い、ツアー企画への盛込み等を旅行社等へ働きかける。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
49,491	49,286	39,428	9,858	205



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託料は3社見積りによる随意契約、工事、備品購入は指名競争入札により契約先を決定しており、費目、使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥	フラワーロード整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画政策課 建設部　施設管理・すぐやる課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	経年劣化したアクセス路の舗装及び街路樹の植栽改良、植樹帯･植栽枡低木の熱帯花木の植栽改良。 訪れて良かったと感じ取れる観光地を目指して、沿道にプランターを置き、市民が花の手入れや水やりなど意識啓発を図り、花いっぱいによる街づくりを展開する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	73,087				
	(b)予算現額	69,699				
	(c)増減額(b-a)	▲ 3,388	0			
	(d)繰越額	－	45,046			
	A. 計(b+d)	69,699	45,046			
B. 執行済額		24,653	40,153			
うち交付金充当額		19,722	32,122			
次年度繰越額		45,046				
執行率（%）(B/A)		35.4%	89.1%			
予算の状況の説明		植栽及び道路の改良については、実施設計業務をおこない、その後道路及び植栽桝改良工事、植栽工事の順で進める事となったが、樹種選定、道路改良に不測の時間を要し、繰越することとなった。3,388千円の減額は繰越し時に不用が見込まれたため決算時にて予算減額の処理を行ったためである。4,893千円の執行残については設定価格に対して入札額が低かったことに起因する入札執行残額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
花の苗木(プランター)設置	目　標	(　設置　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	設置			
フラワーロードの舗装改良	目　標	(　改良実施　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	改良実施			

達成状況説明：花の苗木(プランター)を4,500個作成し、各自治公民館へ配布した。配布したプランターは公民館周辺及び地域に接する国道･県道へ設置した。また、フラワーロードの舗装改良(植栽改良含む)については2路線において実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
花の苗木(プランター)設置	目　標	(　)	(　4,500個　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		4,500個			
フラワーロードの舗装改良	目　標	(　)	(　800m　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		800m			
フラワーロードの植栽改良	目　標	(　)	(　2000m　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		3800m			

進捗状況説明：新石垣空港開港に合わせて各地域の国道･県道へ花の苗(プランター)を設置し、市民及び観光客へ花いっぱいの石垣島を感じてもらうことができた。市道観音堂線においては舗装及び植栽改良を、また市道崎枝線では植栽改良を実施し、高木1種･低木3種を新たに植栽を行った。熱帯花木による観光地アクセス道路にふさわしい景観を形成することができた。

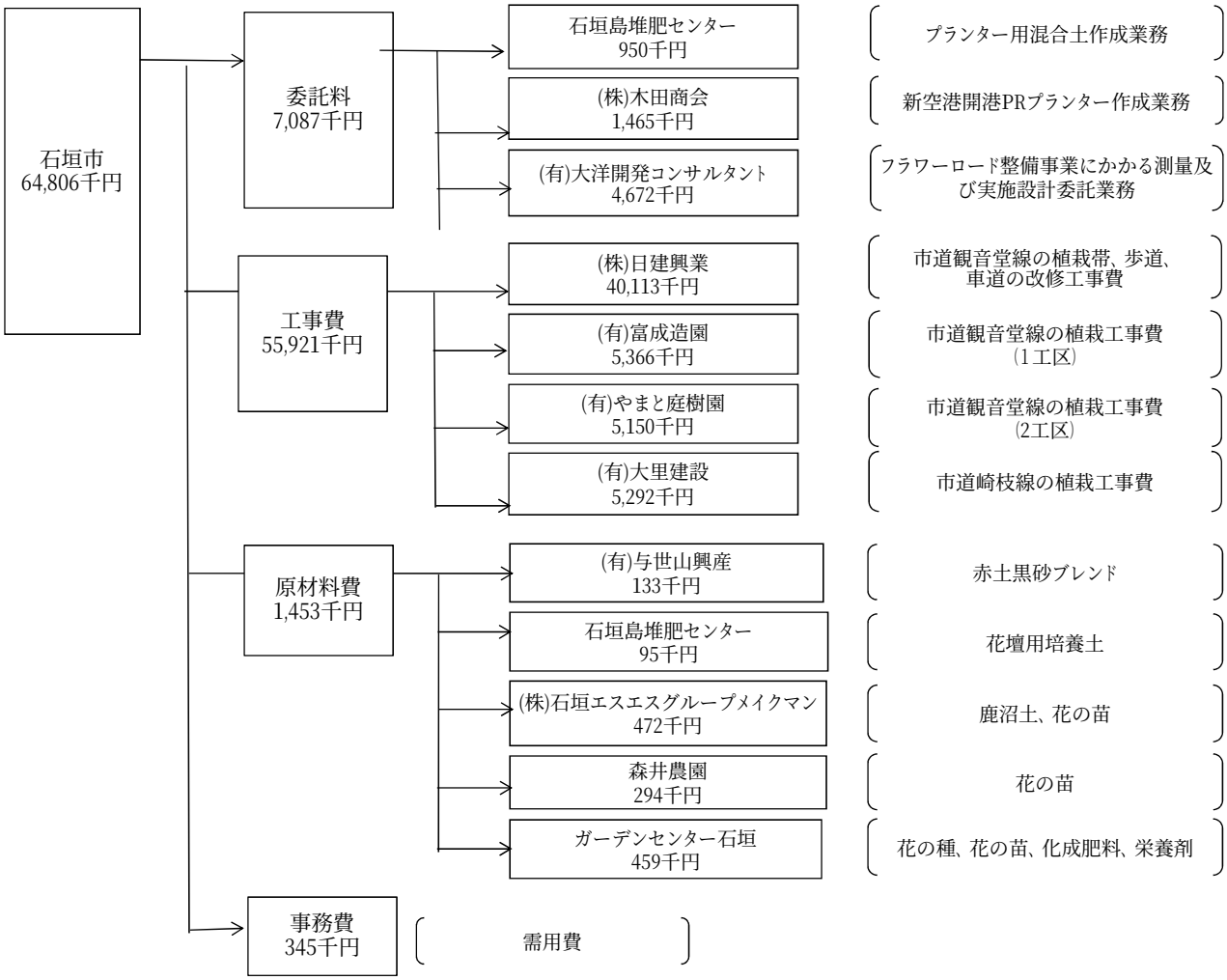
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	樹種選定、道路改良に不測の時間を要し繰越となった。 改良対象となる地区ごとに、台風や季節風よる枯れ、塩害、干ばつ等の現状を踏まえ樹種選定する必要がある。また、近年大型化する台風やゲリラ豪雨等は想定を超えており、風水害に耐えうる樹種や管理手法が課題である。	市民（自治会）と協働で花づくりの取組み・支援が必要である。 また、前年度の通年管理状況を勘案し、適宜剪定・灌水などを行う計画的管理を実施し、どの時期に石垣島を訪れても花によるもてなしができるよう維持管理に努める。 この事業による植栽の改良後に於いても、中長期的に継続的かつ周年を通して花を咲かせ得るよう、例えば複数種をオーバーシードする等の石垣島の自然環境に合致した戦略的管理手法を確立する必要がある。

今後の取り組み方針

石垣市民憲章推進協議会と連携して花いっぱいのまちづくりを推進する。
観光地アクセス道路における今後の事業実施については、平成25年度に策定された石垣市観光施設・観光地整備計画にリンクさせ、観光地と一体となったフラワーロード整備を目指す。維持管理についても、長期にわたって運用可能な管理計画を策定すべく現状調査、生育記録、風水害対策、病害虫対策等の記録を蓄積し今後に反映させたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
64,806	64,806	51,844	12,962	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務、工事共に指名競争入札を行い公平公正な契約を行っている。 ○予算規模、使途については設計委託業務における積算を基に精査し執行に努めた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑦	石垣空港跡地利用事業化調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

現空港跡地の利活用は将来の本市まちづくりに大きなインパクトを与えるポテンシャルを持っている。そのため、土地利用計画の立案･実行は本市発展の大きな原動力となることから、当該地の約96%を所有する国･県に対し、事業導入に向けて具体的な計画を提示する。このことにより、現空港跡地周辺の発展を促し、ひいては本市発展の原動力とし、住みよいまちを目指す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,949				
	(b)予算現額	7,140				
	(c)増減額(b-a)	▲ 809	0			
	(d)繰越額	－	7,140			
	A. 計(b+d)	7,140	7,140			
B. 執行済額		0	7,140			
うち交付金充当額		0	5,712			
次年度繰越額		7,140	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		平成24年度の減額809千円については、指名競争入札による不要分である。 繰越理由については、空港跡地の約96%を所有する国･県との調整において、事業導入までの間の管理方法、工作物の撤去工事等の調整、既存施設の民間等による利活用、土地の貸付･売却などの財産管理方法などで不測の日数を要したため。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
石垣空港跡地利用事業化調査の実施	目　標	（　調査実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：本計画では、平成25年3月7日に新石垣空港が供用開始することに伴い、旧空港跡地の有効な利活用に向けた、土地区画整理事業等の事業導入の実現可能性について、調査･検討をし、石垣空港跡地利用事業化調査事業の報告書としてとりまとめた。これを活用し、今後、土地区画整理事業等の導入に向け、活用を図る。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
石垣空港跡地利用事業化調査の実施	目　標	（　）	（　調査実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年9月に「石垣市空港跡地利用事業化調査事業報告書」を作成した。本計画では、土地利用や施設整備等について、諸条件の把握･精査･検討及び今後のスケジュール等を作成し、土地区画整理事業導入等の事業導入についての検討した。本計画をもとに、空港跡地の約96%を所有する国及び県と連携し、旧空港跡地の有効な利活用について、さらに調査･検討を進める。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・空港跡地の土地の大半が国及び県となっており、計画の推進を進めるうえで、国及び県の理解と協力が必要となる。 ・旧空港跡地における大規模土地所有者かつ旧空港の管理者である県による主体的な事業方針の理解と協力が必要である。 ・空港跡地の約96%を所有する国・県との調整において、事業導入までの間の管理方法、工作物の撤去工事の調整、既存施設の民間等による利活用、土地の貸付・売却などの財産管理方法などの調整に時間を要し繰越となった。	・国及び県との協議により、跡地利用の有効活用を図る必要がある。 ・本市は、事業推進を地元自治体として協力支援し、跡地の早期利活用を促進に向け努める。 ・今後、土地区画整理等の事業導入においても、空港跡地の大規模所有者である国及び県の協力が必要不可欠であるため、円滑に事業を実施していくため、より一層の連携と協力を求めていく必要がある。

今後の取り組み方針

本計画では、土地利用や施設整備等について、諸条件の把握し、検討を行った。今後、策定された内容をさらに精査・検討し、スケジュールに基づき、事業の実施を進めていく。また、策定された本計画をもとに、より一層、国及び県との連携を深め、旧跡地利用の利活用について検討を進める必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,140	7,140	5,712	1,428	

石垣市 7,140千円 → 委託料 7,140千円 → 福岡都市技術 7,140千円 （石垣空港跡地利用事業化調査事業報告書作成委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「土地区画整」に精通し、「都市計画及び地方計画」の業務実績がある業者を選定し、指名競争入札により、選定した。 ○予算については、複数社より見積書を徴収しそれに基づいて、積算を行い、指名競争入札に諮っているので妥当である。 ○費目・使途については、同事業の仕様書に基づいて実施されたものであり、また、関係書類等で確認を行っているの
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑧	石垣市墓地基本計画事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	市民保健部環境課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地形成のまちづくりを進めるため、土地利用の規制誘導がスムーズに進展するよう「石垣市墓地基本計画」の策定を委託する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	-			
	(b)予算現額	12,422	-			
	(c)増減額(b-a)	12,422	-			
	(d)繰越額	―	12,422			
	A. 計(b+d)	12,422	12,422			
B. 執行済額		0	11,137			
うち交付金充当額		0	8,909			
次年度繰越額		12,422	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	89.7%			
予算の状況の説明		墓地の実態調査にあたり、本島在住の地主等への確認業務が新たに発生し、不測の日数を要した。それにより年度内の完了が出来ずに全額繰り越した。予算の執行現額については、委託料(予定価格の積算)の見直しや入札残等により不用額1,285千円が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
墓地基本計画の策定	目　標	（　基本計画策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	基本計画策定			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	
	石垣市における墓地の実態調査や市民の墓地に関する意向調査により課題が整理され墓地の基本方針を定めることが出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
墓地基本計画の策定	目　標	（　　）	（基本計画策定）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		基本計画策定			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	
	石垣市における墓地の実態調査や市民の墓地に関する意向調査により課題が整理され墓地の基本方針を定めることが出来た。 今後は、この方針に基づいた土地利用の規制･誘導を行ない、観光地としてのまちづくりに活かしていく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	◆墓地の実態調査にあたり、地主や墳墓所有者の確認に時間を要した。また、島外在住の方への聞き取り･確認等の作業も生じ、不測の日数を要した。その結果、年度内の業務完了が出来ずに繰り越しとなった。 ●今後は、策定した墓地基本計画の方針に沿った土地利用が実行される為の取り組みが必要となる。	●市民への周知が徹底されるよう周知の方法を検討する。

今後の取り組み方針

●周知にあたっては、市の広報誌やホームページに掲載する他、新聞等にも取り扱ってもらい広く知ってもらう。
●また市民が理解しやすいように図面等の分かりやすい資料の作成にも工夫し取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,137	11,137	8,909	2,228	0

石垣市 11,137千円 → 委託料 11,137千円 → ㈱沖縄計画機構 11,137千円

（墓地基本計画の策定業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札にて委託。指名業者の選定にあたっては、業務実績と都市計画等の技術士を有する業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模、また費目･使途についても妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑨	美ら島ファミリーサポート整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	農林水産部　水産課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	少子高齢化時代にあって、出生率全国一位の沖縄県の離島市である石垣市の、子育て支援の充実を図るため、子育て中のお母さんが乳幼児を連れて気軽に遊ばせることのできる遊具を設置する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,520	－			
	(b)予算現額	2,520	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	2,520			
	A. 計(b+d)	2,520	2,520			
B. 執行済額		0	2,319			
うち交付金充当額		0	1,855			
次年度繰越額		2,520	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	92.0%			
予算の状況の説明		遊具の選定及び設置場所の決定について、不測の日数を要したため、年度内着工できずに全額繰り越した。 ２０１千円の不用額は入札残による契約額の減額分である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
遊具施設の設置	目　標	（遊具施設の設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	遊具施設の設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：当該事業は、地元だけでなく観光客の親子連れも対象なので、石垣らしさを出すためにオリジナル遊具を設置したが、汎用遊具に比較して、当初予算より高額になったため設置箇所が１箇所となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
遊具施設の設置	目　標	（　）	（２箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		１箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：５箇年計画で遊具の充実を図っているが、平成24年度は１箇所に１遊具の設置となった。次年度以降は見直しが必要と考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	遊具の選定及び設置場所の決定について、不測の日数を要したため、年度内着工できずに翌年度へ全額繰り越した。 また、オリジナル遊具は汎用遊具に比較して高額であるため、予算の見直し又は遊具の再検討が必要である。	次年度以降は、予算の見直しを含め、遊具検討を行い実施したい。場所選定や設置数についても同様に検討を行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、事業目的が市民だけでなく観光客も対象にしており、石垣らしさをだす目的で事業採択された経緯があるため、予算規模の見直しも検討する。また、遊具施設の設置箇所数の見直しについても併せて検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,319	2,319	1,855	464	

石垣市 2,319千円 → 工事請負費 2,319千円 → ㈱濱元建設興業 2,319千円（遊具設置に係る工事費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の入札に当たっては、指名競争入札により実施しており妥当である。 ○予算規模については、沖縄県の工事積算基準を採用しており適正である。 ○費目・使途については、漁港事業における補助対象外施設の整備を行っており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑩	石垣市土地保全･利活用計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－⑵－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－⑴

事業内容

都市的土地利用と農業的土地利用を土地の保全と利活用の視点から両者を有機的につなぎ、国土利用計画を補完する指針を作成することによって、1次産業の土台である農地や観光資源である景勝地などを保全すると同時に、観光インフラや日常生活に資する土地の利活用を図る。このことによって、本市の均衡ある発展を目指す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,962				
	(b)予算現額	6,615				
	(c)増減額(b-a)	▲ 347	0			
	(d)繰越額	－	6,615			
	A. 計(b+d)	6,615	6,615			
B. 執行済額		0	6,599			
うち交付金充当額		0	5,279			
次年度繰越額		6,615	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.8%			

予算の状況の説明

執行額の減額については、学識、有識者による外部委員から構成される「石垣市土地保全･利活用計画策定委員会」の委員について、欠席した委員に係る報酬の減額である。繰越理由については、土地利用における各種法律、各種条例、各種計画の調査研究において、関係部署等との調整に予想以上に多く時間を要し、同時に、土地利用に関する市民意向を聴取するための調整と準備に多くの時間を要したため。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
土地保全･利活用計画の策定	目　標	（　計画策定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	計画策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

本市の土地利用のあり方について、農業的土地利用と都市的土地利用等の観点から、保全･利活用について、明確にするため、平成25年8月「石垣市土地保全･利活用計画」を策定した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
土地保全･利活用計画の策定	目　標	（　）	（　計画策定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		計画策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成25年8月に「石垣市土地保全･利活用計画」を策定した。本計画は、本市の土地の有効活用を図る指針とし、離島である本市の振興に寄与するため、土地利用の最上位計画である国土利用計画を補完する役割を担い、農業的土地利用と都市的土地利用をバランスよくつなぐために活用されるものであり、農業振興地域の整備や開発などの土地利用を行う際の指針となるものである。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・農業的土地利用と都市的土地利用について、新空港開港による将来的土地利用への対応が必要となる。 ・関係部署等との調整及び市民意向調査に時間を要したため、繰越事業となった。	・将来の社会情勢の変化に対応するため、適宜本計画の修正等を行い、新たな課題へ対応する。 ・計画策定時から関係部署や市民団体との連携を密にし課題へ取り組む。

今後の取り組み方針

新空港開港による将来的土地利用への対応が求められるため、適宜本計画の見直しを行うほか、関係部署との連携を密にするため、年度ごとに上期・下期に分け、関係部署へ意見照会を行い、新たな情報を更新し、計画へ反映していくこととする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,599	6,599	5,279	1,320	

石垣市 6,599千円 ― 委託料 6,599千円 ― 玉野総合コンサルタント 6,599千円

（石垣市土地保全・利活用計画策定業務委託料）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定にあたっては、石垣市において、土地利用等総合的な計画実績があることを勘案し、指名競争入札により事業者を決定しており妥当であった。 ○予算については、複数社より見積書を徴収しており、それに基づき積算をしているので妥当であった。 ○支出関係については、十分に検討がなされており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑭	美ら島モニュメント整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－12－ア 観光リゾート産業の振興
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－⑴
事業内容	新石垣空港の開港によって国内はもとよりアジアからの観光需要の増加が見込まれる。そうした状況から石垣島の著名人や八重山らしさを題材にモニュメントを設置。新たな観光資源の創出を図る				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	32,959				
	(b)予算現額	30,000				
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,959	0			
	(d)繰越額	－	30,000			
	A. 計(b+d)	30,000	30,000			
B. 執行済額		0	29,526			
うち交付金充当額		0	23,620			
次年度繰越額		30,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	98.4%			
予算の状況の説明		当初、従来型の発注でモニュメントを制作することを検討していたが、制作にあたって、公募型プロポーザル方式を採用し、提案型とすることで、デザインやインパクト性の高い提案が期待できるため、スケジュールを変更し、公募型プロポーザルの準備に時間を要し、繰越事業となった。 予算の執行減額については、モニュメント制作確認作業のための旅費等が不要となったことにより減額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
モニュメント設置	目　標	（　3か所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3か所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：公募型プロポーザルにより、事業者を選定し、市民アンケートによりモニュメントの題材を公募実施した。その中から3体のモニュメントを採用し、島内3箇所に設置し、「思わず写真を撮りたくなる。待ち合わせスポットになる。人に伝えたくなる。」ようなユニークな観光モニュメントの創出を図った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
モニュメント設置	目　標	（　）	（　3箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：島内3箇所に新たな観光スポットとして、モニュメントを設置したことにより、観光客等が、写真を撮り、ブログやfacebookに掲載することで、石垣島の観光スポットとして話題となり、観光の呼び水として活用されることが期待される。

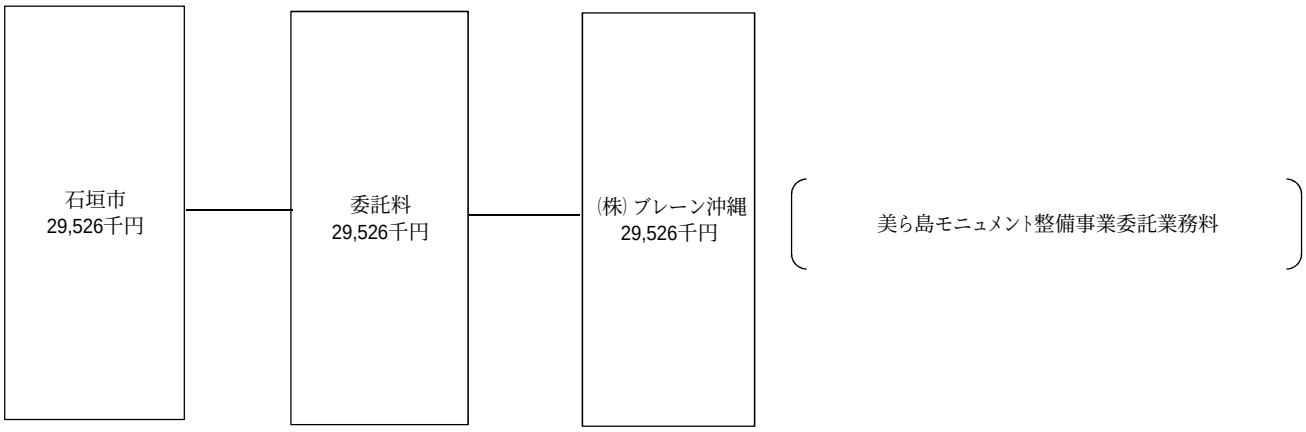
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・モニュメントの設置について、法的規制や関係各機関との調整に相当の時間を要した。 ・当初は、観光大使等のモニュメントを予定していたが、観光客や市民が思わず写真を撮りたくなるようなモニュメントをつくるため、当初計画を変更し、従来型の発注方法から公募型プロポーザルでの提案型の事業選定に時間を要し、事業の実施時期が遅れたことで繰越となった。	・法的規制や関係各機関との事前の協議を行いながら場所の選定を行う必要がある。 ・公募型プロポーザルにより、事業者を選定し、市民アンケートにより、公募でモニュメントの題材を募ったことで、時間を要したが、結果的にデザインやインパクト性の高いものが制作できた。

今後の取り組み方針

今後、同様の事業を行う際には、積極的に公募型プロポーザルなどの事業者選定方法についても検討し、より自由度の高い事業を実施していくことが必要である。また、観光客や市民ニーズを把握することが、より、親しみやすく利用しやすいものになるとなるため、ニーズを把握する機会を設けることも同様の事業には必要であると考える。
設置されたモニュメントについては、新たな観光資源として、主に、観光客や市民が自ら写真を撮って、ブログやfacebookなどで石垣島をPRしてもらえるよう活用していくこととする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,526	29,526	23,620	5,906	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定にあたっては、公募型プロポーザル方式により実施した。また、モニュメントの制作にあたっては、市民アンケートを実施し、選定委員会により、モニュメントを決定した。 ○予算については、見積書を聴取し積算しているため、妥当である。 ○事業に要した費用については、予算の範囲内で適正に執行されているため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑮	バス停上屋整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部商工振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	新空港開港を控え、より快適な観光地としてのまちづくりの一環として、公共交通機関であるバスの利便性の向上及び機能充実のためバス停上屋を整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000				
	(b)予算現額	20,000				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	20,000			
	A. 計(b+d)	20,000	20,000			
B. 執行済額		0	19,717			
うち交付金充当額		0	15,773			
次年度繰越額		20,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	98.6%			
予算の状況の説明		場所の選定や、関係者との調整に不測の日数を要したため、年度内着工出来ずに繰越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
バス停上屋整備設置	目　標	（　5箇所　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	6箇所			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：市内5個所(太陽の里前、白保小前、南星野、米原、明石)において、バス停上屋の整備を実施した。また、離島ターミナル前については、入札残により前倒しで実施することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
バス停上屋整備設置	目　標	（　　）	（　5箇所　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		6箇所			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年4月より供用を開始し、強い日差しや雨天時における利便性の向上により、観光客や地元住民に喜ばれている。

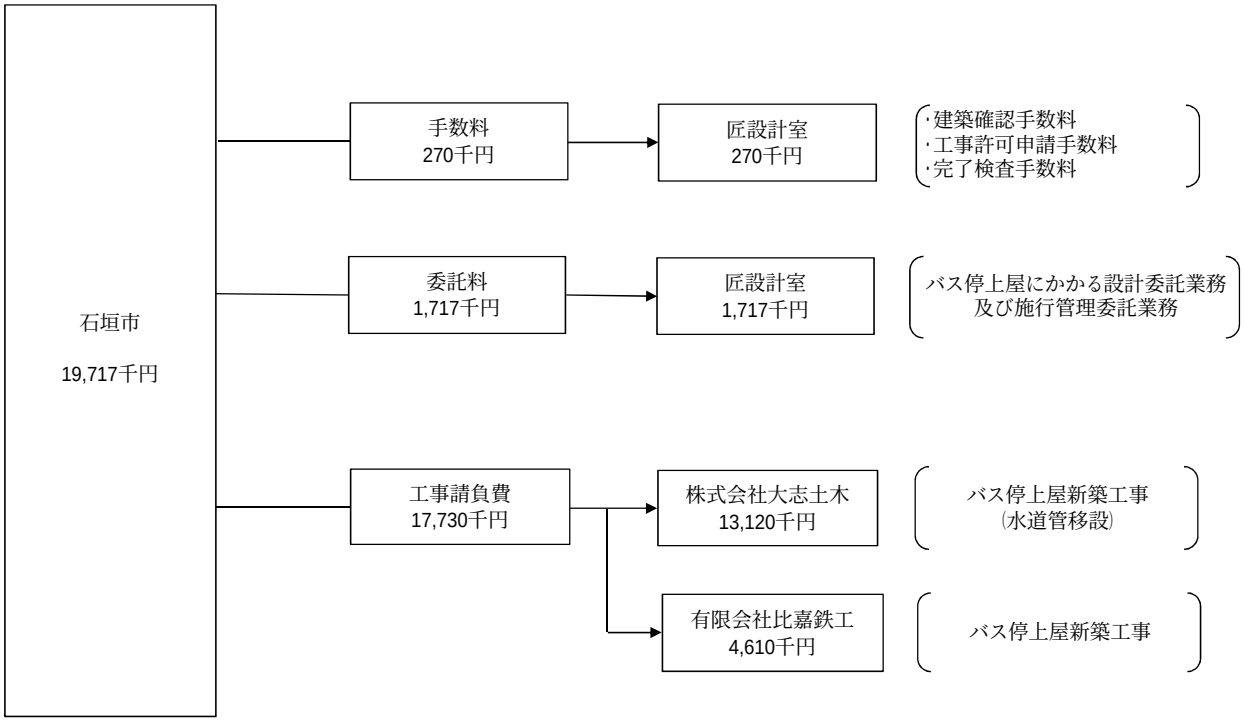
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	手数料については当初計上していなかったが、建築確認や工事に係る申請において必要なため流用にて対応した。 バス停上屋設置に関する必要性や要望等を参考に、バス停上屋設置の必要な 個所を検討し優先順位の検討を行った。また、バス停上屋の位置（上り・下り）の調整、バス停上屋が設置可能な歩道があるかを検討した。	バス停上屋の設置個所の検討に当たっては、地元の公民館長等からの意見聴取、現地調査を実施し優先順位の高い箇所から整備をした。また、規模についても利用上に応じた規模を実施設計に反映した。

今後の取り組み方針

今後は、現地調査や、地元住民の意見を参考にバス停上屋の設置の必要性や形状について検討して、優先順位の高い箇所からバス停上屋の整備を進める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,717	19,717	15,773	3,944	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負工事は指名競争入札により実施しており妥当である。 ○予算規模については事業内容に見合った適正な規模となっている。また、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、石垣市の猛烈な日差しや雨天時においてもそれらを避け、快適にバスを利用してもらうためにバス停留所上屋であり、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑯	まちなか親水広場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部施設管理すぐやる課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	現存する井戸を復元させ、まちなかの観光スポットとしての利用や市民の憩いの場、また災害時における水の再利用を目的に整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
	(b)予算現額	10,000				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	10,000			
	A. 計(b+d)	10,000	10,000			
B. 執行済額		0	9,998			
うち交付金充当額		0	7,998			
次年度繰越額		10,000				
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		事業実施にあたり、対象箇所を市民公募により選定したために予定外の日数を要した。 また、水質検査･掘削等、施工手法の調整に時間を要したため、全額を次年度に繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
井戸の復元整備	目　標	(　整備　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	整備			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	井戸を整備するにあたり、市民公募により井戸を選定し、事業実施を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
井戸の復元整備箇所	目　標	(　)	(　3箇所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		5箇所			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	当初、3箇所の整備予定であったが、井戸を整備するにあたり市民公募を行ったところ5箇所の要望があったため該当箇所を精査し、事業実施を行った。

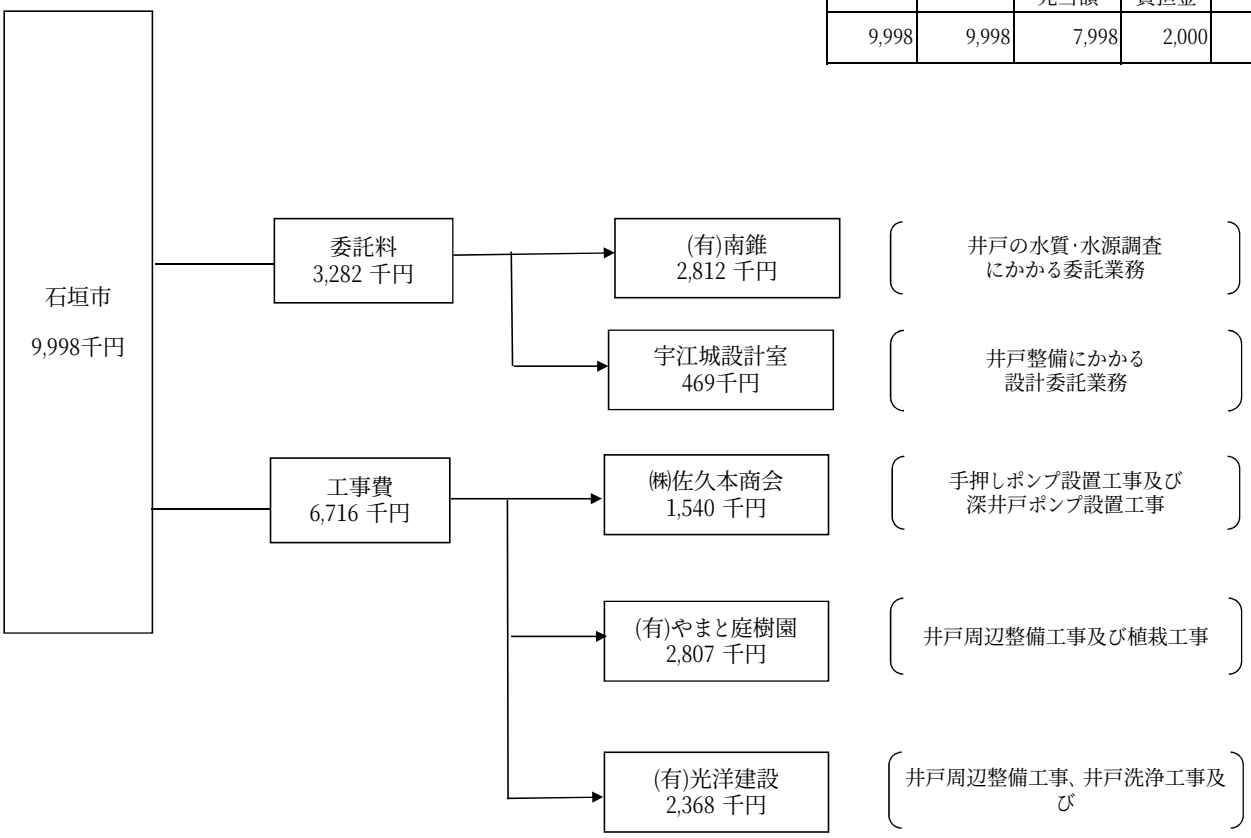
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市民公募による事業実施を図ったが、一般市民の知らない井戸が多数候補に挙がったため選定に予想外の時間を要した。	公募を行う前に必要最低限の調査（水質、水源等）を行い、ある程度知られた井戸を選定し、事業対象箇所を限定した方が事業実施においては効率的であった。

今後の取り組み方針

事業実施箇所の周知を図るため、観光マップ等への登載、市のホームページへの登録、及び教育委員会等との連携により、まちなか親水広場めぐりツアー（仮称）等の実施を進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,998	9,998	7,998	2,000	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約は随意契約にて決定している。業者選定については井戸整備ができる業者の選定に時間を要したが、最終決定においては妥当だったと思慮される。 ○事業に要した費用については、予算の範囲内で適正に執行されているため、妥当である。 ○全ての費目・使途は、事業目的に即し、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑰	観光地･観光施設への集客力強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	外国人を含む観光客向けに無料の公衆Wi-Fi無線を提供することにより、バーチャルまちづくりによる集客と石垣ブランドの浸透を図る。スマートフォンを活用した観光･イベント情報等の発信を多言語で行うことにより、国内外の観光客の利便性向上と、入域観光客の増加に繋げる。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	39,959				
	(b)予算現額	39,959				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	39,959			
	A. 計(b+d)	39,959	39,959			
B. 執行済額		0	39,959			
うち交付金充当額		0	31,967			
次年度繰越額		39,959				
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		設置箇所及びコンテンツ内容等の調整に時間を要したが、予算通りに執行完了した。 繰越理由としては、設置場所選定、業者選定に不測の日数を要したためである。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
Wi-Fi無線の設置	目　標	（　設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設置			
観光情報等の多言語化	目　標	（　多言語化　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	多言語化			

達成状況説明	石垣空港ターミナル、石垣港ターミナルなど、9カ所でWi-Fiアンテナを設置するとともに、観光WEBサイトの多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語)を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
Wi-Fi無線の設置個所数	目　標	（　-　）	（　9か所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		9か所			
観光情報等の多言語化発信数	目　標	（　）	（　4か国語　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4か国語			

進捗状況説明	石垣港ターミナルほか9カ所にWi-Fiアンテナを設置し、ステッカー等で周知を行ったことで、台湾からのクルーズ船入港日にはアクセス数が増える傾向があるなど、外国人観光客の利便性に寄与している。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業予算確定がH24年12月のため、年度内は設置場所選定、業者選定の実施を行い、Wi-Fiアンテナ設置はH25年度に実施した。事業予算額の規模により早めの応募に対応するなど留意したい。	Wi-Fiアンテナ増強を実施する際は、年度内執行できるよう当初予算に組み込むなど必要なリソースを早めに確保をする。 また、アクセス数等を検証しWi-Fiエリア拡大の必要性について検討する。

今後の取り組み方針

Wi-Fiアンテナを設置した箇所の増強及び新たに観光地･観光施設へのアンテナ設置を利用状況などの効果を継続検証し、管理コストの確認を踏まえたうで拡大を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,959	39,959	31,967	7,992	

石垣市 39,959千円 → 委託料 39,959千円 → 株式会社オーシーシー 39,959千円（観光地･観光施設への集客力強化事業業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	青と緑の再生プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(3)－イ クリーンエネルギーの推進
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	沖縄県内で唯一、国指定名勝に選ばれている川平湾の水質は年々悪化しており対策が求められている。川平湾を保全し、同地域をモデル地区として観光地にふさわしいエコタウンとしての展開を図るため、EV船の導入補助を行い再生に向けた取組みを実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,100	0			
	(b)予算現額	7,100	0			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	7,100			
	A. 計(b+d)	7,100	7,100			
B. 執行済額		0	6,850			
うち交付金充当額		0	5,480			
次年度繰越額		7,100	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	96.5%			
予算の状況の説明		国指定の景勝地である川平湾での船舶航行を規制しようという意見があり、文化財を所管する教育委員会との調整に不測の日数を要したため繰越事業となった。また、消耗品、補助金の執行残があった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
EV船導入補助件数	目　標	(　1件　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1件			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：石垣市EV船建造事業者補助金交付要綱を定めて、EV船導入事業者を選定し、1件の補助を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
EV船導入補助件数	目　標	(　-　)	(　1件　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1件			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：導入したEV船は、平成26年6月22日に営業許可がおり、翌23日より運航を開始している。

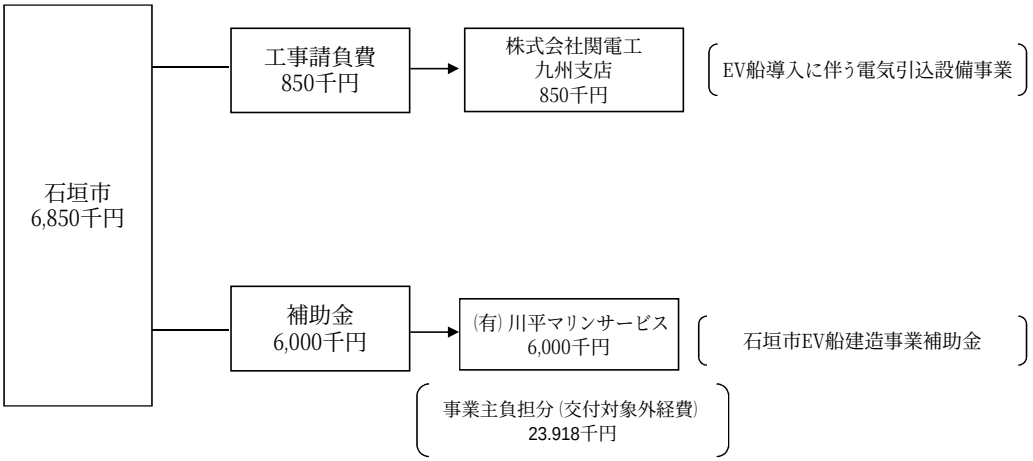
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	･EV船建造事業委託者を選定するための実施要綱の作成において、専門機関との調整に時間を要した。 ･EV船建造費用が高く、投資を回収することに対して、事業者リスクが課題となる。 ･充電設備の充実が課題となっている。	･EV船の普及を推進するうえで、川平湾保全･活用の中長期的な方向性と対策を関連機関、事業者と具体化を図ることが必要である。 ･導入効果やEV船が観光資源となることの評価検証を進めていくことが必要である。 ･高速充電設備や状況及び中長期プランに応じた充電設備等の設置検討が必要である。

今後の取り組み方針

･国指定の名勝であり、本市を代表する川平湾を低炭素社会を実現する観光モデル地区として魅力向上を進めたい。平成26年度は、Ev船導入の効果を含めた中長期的な事業効果に係る方向性を検証しながら取り組みたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,768	6,850	5,480	1,370	23,918



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○石垣市EV船建造事業者補助金交付要綱を定めて、EV船導入事業者を選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	サンゴ再生事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ｱ 自然環境の保全･再生･適正利用
担当部課名	農林水産部　水産課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)
事業内容	近年、大発生状態にあるオニヒトデの食害等で枯渇化しているサンゴ礁の再生を図るべく、サンゴ再生事業の委託事業を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,000	－			
	(b)予算現額	25,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	25,000			
	A. 計(b+d)	25,000	25,000			
B. 執行済額		0	22,909			
うち交付金充当額		0	18,327			
次年度繰越額		25,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	91.6%			
予算の状況の説明		サンゴ移植の親サンゴの調達方法等について、関係機関との調整に不足の日数を要したため、年度内着工できずに全額繰り越した。、当初、関係機関との調整のため計画に遅れはありましたが、期間内に執行することができ、適正に実施されたと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
サンゴ再生(移植)数	目　標	(　500個　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	2,000個			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：当初移植サンゴを卵の段階から育成する予定であったが、育成については時間を多く要するため養殖サンゴ(幼生)を移植する方法へと事業見直しを行った。それにより移植数が目標数より大きく上回る2,000個となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
サンゴ再生(移植)数	目　標	(　0個　)	(　500個　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		2,000個			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：サンゴ移植を2,000個実施することができ、この海域のサンゴ再生を図ることができた。さらに、購入したサンゴ育成用構造物を設置するための人工基盤を市単独事業で設置した。今後、人工基盤にサンゴ幼生が着床し、サンゴが増殖し、サンゴ再生に寄与することができると考える。

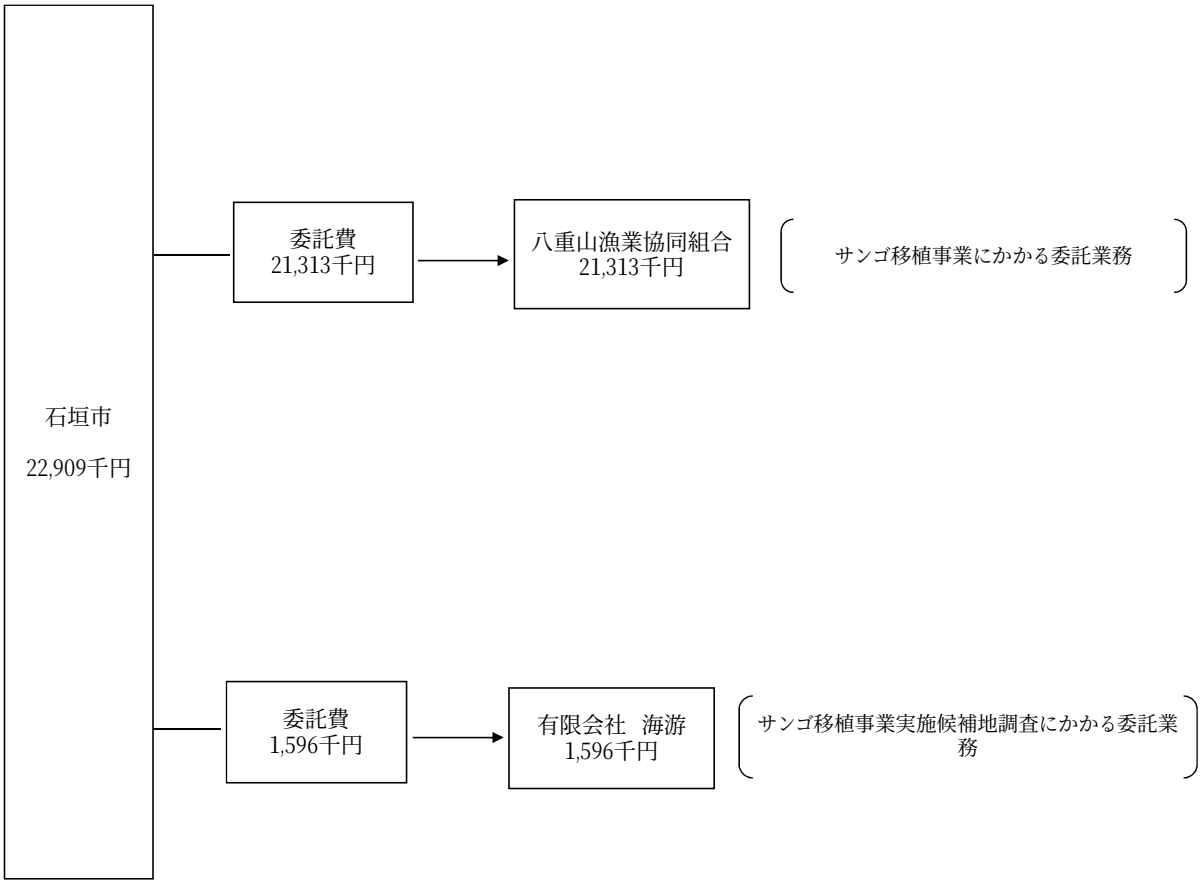
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・移植用養殖親サンゴの数量には限りがあるため、今後は移植用養殖サンゴの確保においても問題となってくる可能性が大きい。 ・今後は移植したサンゴの管理や追跡調査が必要になるが、海中のことなので簡単ではなく、事業化が必要になってくる。	今後は移植用養殖サンゴの確保においても養殖等を含めて考えていきたい。また、移植したサンゴの管理及び追跡調査はについても実験的に検討していきたい。

今後の取り組み方針

移植したサンゴ成長の管理や、追跡調査、移植用親サンゴの養殖も視野にいれ、サンゴ再生に取り組んでいきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,909	22,909	18,327	4,582	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札及び地方自治法施行令により適正に随意契約（サンゴ礁を再生するために実施するサンゴ移植を効果的・効率的に行うことを目的とするもので、十分な漁場の周知及び適正なサンゴの取扱い等、技術的及び経験的に塾度の高い作業内容を必要とする等の理由から）を行っており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥	石垣市エコアイランド事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(3)－イ クリーンエネルギーの推進
担当部課名	市民保健部　市民生活課 企画部　企画政策課 建設部　都市建設課 農林水産部　むらづくり課	事業実施(予定)年度	平成24年度～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－11－(2)

事業内容

・平成19年「石垣市自然環境保全条例」を制定したことを受け、自然環境に関する構想を策定する必要があることから、循環型社会の構築、環境負荷への軽減等、自然環境の再生に係る取組みを行う。具体的には、エコアイランド構想を策定するため、「(仮称)石垣市エコアイランド構想」の調査委託をする。
・市内既設の防犯灯のＬＥＤ化
・農村集落内の既設置防災灯電球をＬＥＤ化する。
街路灯を省エネ性能が高いLED化し、低炭素島嶼社会の実現に向けた取り組みを推進し、市民の意識向上を図り、エコアイランド構想の推進する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	59,162				
	(b)予算現額	59,162				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	41,442			
	A. 計(b+d)	59,162	41,442			
B. 執行済額		17,270	40,005			
うち交付金充当額		13,816	32,004			
次年度繰越額		41,442				
執行率（%）(B/A)		29.2%	96.5%			

予算の状況の説明：エコアイランド構想策定委員会を開催するにあたり、各委員から追加調査等の意見があり、その調整に不測の時間を要したため、次年度に繰越した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
エコアイランド構想の策定	目　標	（エコアイランド構想策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	エコアイランド構想策定			
防犯灯のLED化数	目　標	（259基）	（　）	（　）	（　）
	実　績	270基			
防災灯LED化実施個所数	目　標	（87ヵ所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	87ヵ所			
外路灯のＬＥＤ化	目　標	（150基）	（126基）	（55基）	（　）
	実　績	150基			

達成状況説明：平成24年度事業として実施したが、不測の時間を要したため、繰越をし、平成25年6月に策定した。
防犯灯･防災灯については市内･農村地区と合わせて351基の整備を行った。防犯灯については、入札残により、目標数よりも11基多く実施することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
エコアイランド構想の策定	目　標	（　）	（エコアイランド構想策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		エコアイランド構想策定			
防犯灯のLED化	目　標	（　）	（259基）	（　）	（　）	（　）
	実　績		270基			
防災灯LED化実施個所数	目　標	（　）	（87ヵ所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		87ヵ所			
外路灯のＬＥＤ化	目　標	（　）	（150灯）	（126灯）	（55灯）	（　）
	実　績		150灯			

進捗状況説明：既設防災灯･街路灯のＬＥＤ化を行うことにより、省電力化が可能になった。そのことにより、二酸化炭素が低減され地球環境に優しく、かつ、低料金化も図られた。また、耐久性に優れ長寿命であるため、修繕コスト削減とともに安定的に維持管理を遂行できる。

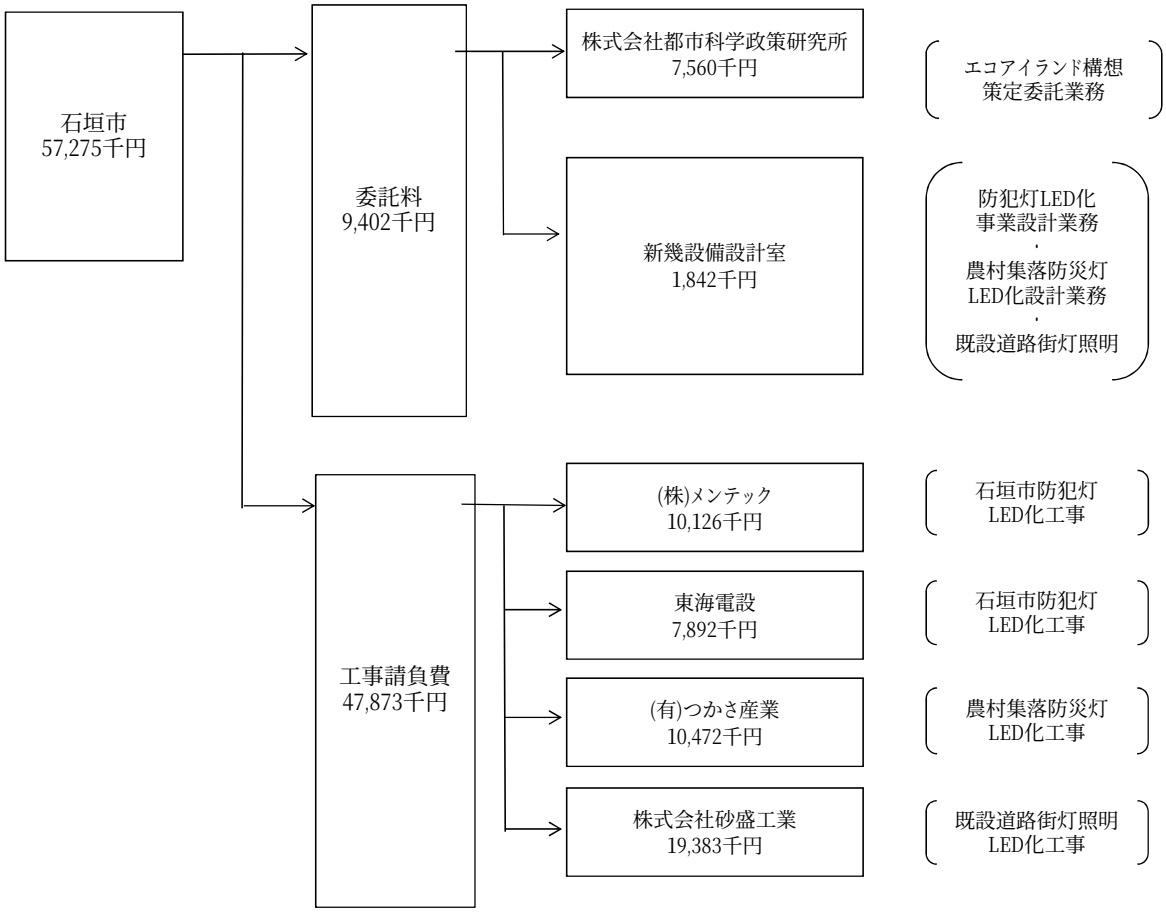
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	エコアイランド構想策定委員会を開催するにあたり、追加調査等の調整に不測の時間を要し、繰り越しとなった。 既存防犯灯の灯具を、長寿命で耐久性に優れたLEDに取替えた事により、低額で明るく、安心･安全な地域の環境整備の推進を図ることができた。 エコアイランド構想については、本市のエコ化の取組状況等、現状を把握し、本市の実情を踏まえ、推進する必要がある。	エコアイランド構想の推進を行うにあたって、庁内でのしっかりとした体制作りが必要である。 防犯灯･街路灯のLED化については、効果発現を促進するために事業実施後の適正な維持管理が求められる。

今後の取り組み方針

エコアイランド構想については庁内での推進体制の構築を行う。その上で石垣市エコアイランド構想に基づき、再生可能エネルギー等の導入検討･エコ化（EV車の導入、雨水利用）の取り組みなどの検討を行う。
また、防災灯･街路灯のLED化については来年度も引き続き実施を計画しており、LED化が必要な箇所を調査し、防災灯設置事業の着手を図る。すでにLED化が済んでいる地域に関しては適正な維持管理を行い、安心･安全な地域の環境整備の推進を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
57,275	57,275	45,820	11,455	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○構想策定における委託は指名競争入札により選定した。 ○防犯灯等のLED化における設計業務の委託は、適正な業者と随意契約にて適正な処理を行っている。 ○工事請負業者については指名競争入札を実施しており妥当であった。 ○全ての費目･使途は、事業目的に即し、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	就業支援マッチング事業･人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ウ 職業能力の開発
担当部課名	企画部商工振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	各分野の既存ストックを活用した職業訓練を実施し就業支援を強化するとともに、工芸産業の技術者を育成する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	39,990				
	(b)予算現額	35,056				
	(c)増減額(b-a)	▲ 4,934	0			
	(d)繰越額	－	20,751			
	A. 計(b+d)	35,056	20,751			
B. 執行済額		14,305	19,117			
うち交付金充当額		11,444	15,293			
次年度繰越額		20,751	0			
執行率（%）(B/A)		40.8%	92.1%			
予算の状況の説明		関係機関との調整等に時間を要したため、繰越事業となった。4,934千円の減額については繰越す段階で不用が見込まれたため決算処理において減額を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
焼き物セミナーの開催	目　標	（　開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催			
八重山上布技術者講習会の開催	目　標	（　開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催			
特産品開発セミナーの開催	目　標	（　開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催			

達成状況説明：事業者技術向上のためや後継者育成を目的に、焼物セミナー･八重山上布技術者講習会･特産品開発セミナーを開催した。その他就業支援マッチング事業として、ウェブクリエイター養成研修、ホームページ作成研修、プロダイバー養成研修、星空ガイド養成研修、ホスピタリティ研修を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
焼き物セミナーの開催	目　標	（0）	（1回）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1回			
八重山上布技術者講習会の開催	目　標	（0）	（70回）	（　）	（　）	（　）
	実　績		59回			
特産品開発セミナーの開催	目　標	（　）	（6回）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5回			

進捗状況説明：焼き物セミナーについては指標通り達成できた。八重山上布技術者講習会については目標回数70回であったが、講師及び受講者の都合により休講が予定より増えたため59回の開催となった。特産品セミナーの開催については、一人の講師予定者の日程調整がつかずに開講できなかったため5回の開催となった。

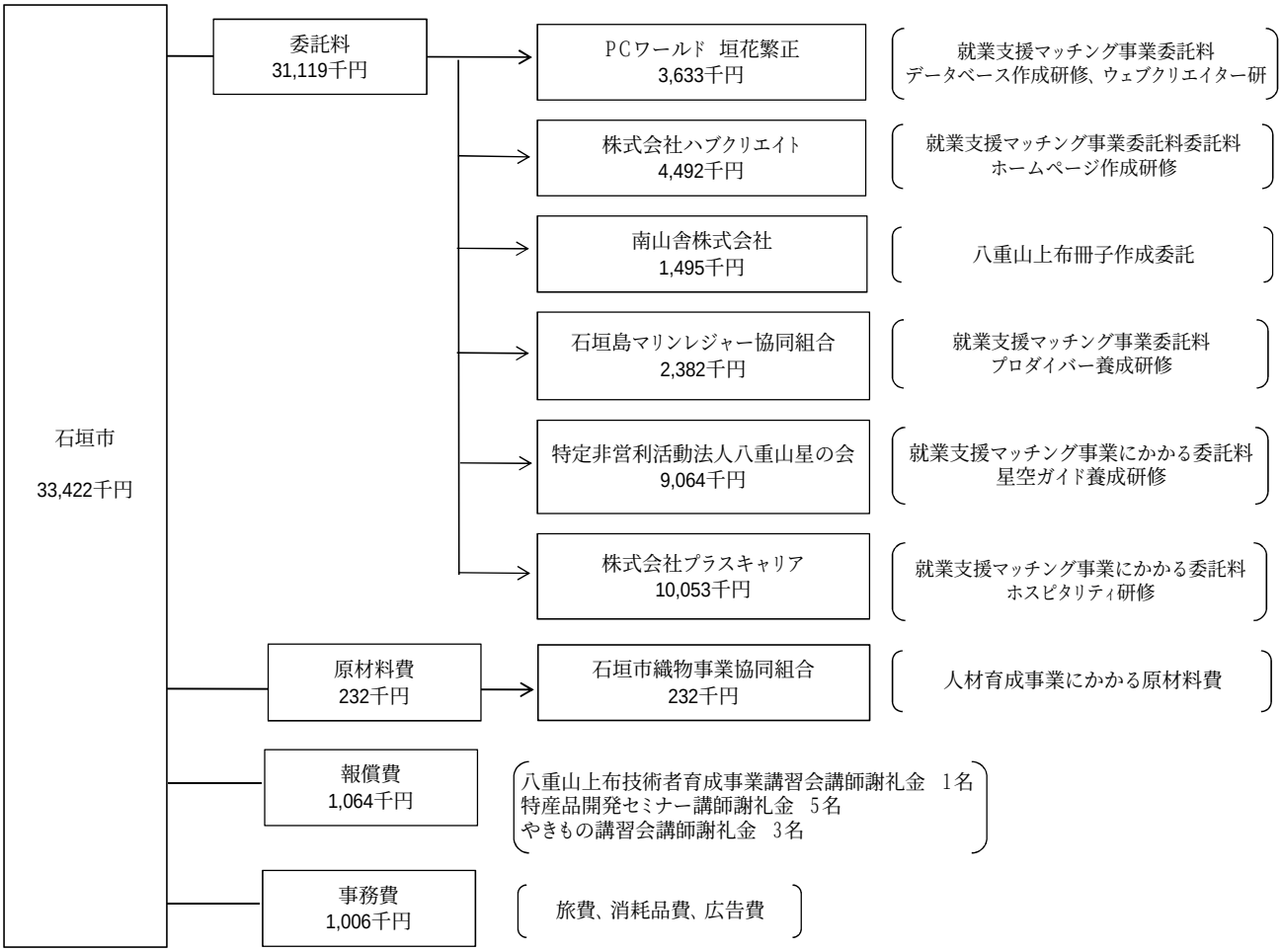
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	就業支援マッチング事業は関係機関との調整及び講習内容の調整、に時間を要した。 「やきもの技術者育成事業」は、得意分野の異なる講師による講習会が実施できたため、市内で作陶に従事する事業者の技術向上につなげられる内容だったと評価できる。 「八重山上布」については、上布の第１人者である講師により３名の受講生が染め、織り、等一連のプロセスの手ほどきを受け最終的には服地の完成にこぎつけることができたことは大きな成果であった。 「特産品」については、市内の事業者が個人レベルでは習得しづらい分野（デザイン、売れる商品の考え方）等を一線で活躍する実務者から聞くことができ、事業活動に活かすことができた。	就業支援マッチング事業については、早期に、関係者との調整や講習内容の検討をすることで、より円滑かつ効率的な事業実施が図られると思料する。 やきもの、八重山上布、及び特産品に係る人材育成事業については、各分野における対象者となる事業者の課題や悩みなどニーズ把握に努めることで的確なカリキュラムづくりにつなげることが肝要であるため、今後もその点に留意の上で人材育成メニュー（事業）を今後も継続したいと考えている。

今後の取り組み方針

平成２５年度～２６年度の２年間についても、やきもの、八重山上布、特産品の３分野における人材育成事業を継続して実施し、３年間でそれぞれの分野における人材確保に努めたいと考えている。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,422	33,422	26,737	6,685	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	就業支援マッチング事業はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・委託相手の選定については「随意契約」及び「公募型」を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であった。 ・実施事業の予算は積算又は見積により算定され妥当であった。 ・出展事業における各業者の総事業費に対する助成率は１０％台から４８％であり、利益醸成にもつながっていないため、助成の有り方としては適正な支出であった。 ・事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-④	水産振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯･島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

老朽化した八重山漁協の漁船燃料タンクの危険性を除去するため、改修に係る費用を補助する。また、大型定置網設置箇所に関する調査事業を実施するとともに、オニヒトデやサメ等の有害生物による漁場悪化を保全する。

実施方法

□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	48,305	－			
	(b)予算現額	46,307	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 1,998	－			
	(d)繰越額	－	11,582			
	A. 計(b+d)	46,307	11,582			
B. 執行済額		34,725	9,482			
うち交付金充当額		27,780	7,585			
次年度繰越額		11,582	0			
執行率（%）(B/A)		75.0%	81.9%			

予算の状況の説明

定置網の選定場所について関係機関との調整に不測の日数を要したため、発注が遅れ、定置網の設計が年度内に完了しない見込みとなったことから、一部繰り越した。3,778円の減額については、繰越の段階で不用が見込まれたため、決算処理の際に予算減額の処理を行ったためである。2,100千円の不用額は入札残による契約額の減額分である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
漁船燃料タンク改修補助	目　標	（補助の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	補助の実施			
大型定置網調査の実施	目　標	（調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査の実施			
オニヒトデ駆除数	目　標	（3,500匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3,931匹			

達成状況説明

･老朽化した漁船燃料タンク改修により、危険性が除去され漁業者への燃料の安全で安定供給、並びに地域住民の安全が確保された。
･大型定置網調査は石垣島近海の海域1haにおいて大型定置網設置工事の設計委託を実施した。
･オニヒトデ駆除の実施によりサンゴの食害を防ぐことができ、好漁場であるサンゴ礁の保全が図れた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
漁船燃料タンク改修補助	目　標	（　）	（補助の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		補助の実施			
大型定置網調査の実施	目　標	（　）	（調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査の実施			
オニヒトデ駆除数	目　標	（　）	（3,500匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3,931匹			

進捗状況説明

･老朽化した漁船燃料タンク改修により、危険性が除去され漁業者への燃料の安全で安定供給、並びに地域住民の安全が確保された。
･大型定置網調査は石垣島近海の海域1haを大型定置網設置工事の設計委託を実施した。
･オニヒトデ3,931匹の駆除の実施によりサンゴの食害を防ぐことができ、好漁場であるサンゴ礁の保全が図れた。

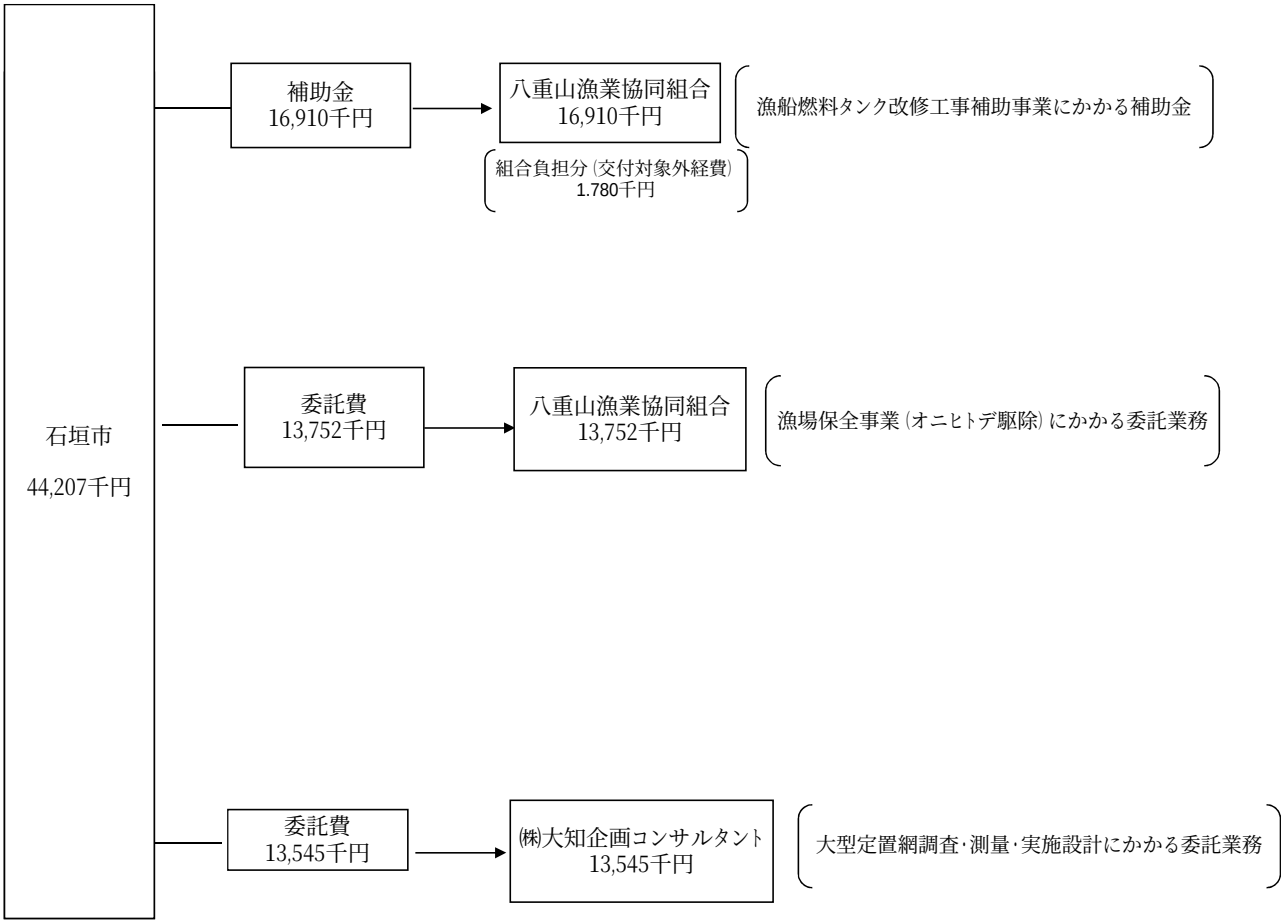
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・漁船燃料タンク改修については、既存の燃料タンクが鋼製で吹きさらしの状態であり、塩害で腐食してきため、塩害に強い構造の新しいタンクが必要であった。 ・大型定置網調査委託については、実施設計を含め設置場所の選定までとなっているが、今後は実際にその海域に生息する魚類の調査も検討が必要になってくる。 ・漁場保全事業のオニヒトデ駆除は3月に一気に実施をしているが、次回からは定期的な駆除も含めた駆除計画の見直しが必要になってくる。	・今回取り替える漁船燃料タンクは鋼製の上に鉄筋コンクリート等を被覆した構造（4重構造）となっており、従来の構造に比べて耐用年数の大幅なアップになっている。 ・生息する魚類の調査は、次年度以降に他事業も含めて検討事項とする。 ・漁場保全事業のオニヒトデ駆除は早期発注と定期的な駆除に努めていきたい。

今後の取り組み方針

・漁場保全事業のオニヒトデ駆除は早期発注と定期的な駆除及び駆除規模の細分化に努め、より効果があがるよう取り組みたい。また、大型定置網関連事業については、選定された海域における魚介類の生息調査も含め他の補助事業とすみ分けを行い、次年度以降も取り組んで行きたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,987	44,207	35,365	8,842	1,780



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札及び地方自治法施行令により適正に随意契約を行っており、妥当であったと考えている。 ○受益者負担については、構造改善事業の負担割合を参考に決定しており妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-③	防災体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部防災危機管理室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	災害発生時に迅速かつ適切な避難行動をするために、緊急情報や災害情報伝達手段の多様化、伝達体制の整備拡充、指定避難所などへの誘導するための標識を整備する。防災計画に基づく防災拠点などに防災備蓄倉庫を整備する。低地域における津波避難施設整備基本計画を策定する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	112,849				
	(b)予算現額	112,380				
	(c)増減額(b-a)	▲ 469	0			
	(d)繰越額	―	99,955			
	A. 計(b+d)	112,380	99,955			
B. 執行済額		12,425	82,148			
うち交付金充当額		9,940	65,718			
次年度繰越額		99,955	―			
執行率（%）(B/A)		11.1%	82.2%			

予算の状況の説明：防災無線、小型受信機、避難標識、備蓄倉庫の設置場所の選定及び設置予定の地域や管理者等との調整に時間を要したため、次年度に99,955千円を繰越し、事業計画通り実施した。469千円の減額は繰越す段階において不用が見込まれたため決算時において減額処理を行っている。繰越後の不用額は、入札執行残によるものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防災無線拡声子局の整備数	目　標	(　12基　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	12基			
防災無線小型受信機の設置数	目　標	(　83個　)			
	実　績	83個			
避難所標識及び避難誘導標識の設置数	目　標	(　100本　)			
	実　績	104本			
防災備蓄倉庫の整備箇所	目　標	(　1ヵ所　)			
	実　績	1ヵ所			
津波避難施設整備基本計画の策定	目　標	(　計画策定　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	策定済			

達成状況説明：防災無線(緊急時一斉放送システム)屋外拡声子局及び戸別受信機の整備、避難所標識及び避難誘導標識の設置、防災備蓄倉庫の整備、津波避難施設整備基本計画の策定について、目標どおり実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
防災無線拡声子局の整備数	目　標	(　)	(　12基　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		12基			
防災無線小型受信機の設置数	目　標	(　)	(　83個　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		83個			
避難所標識及び避難誘導標識の設置数	目　標	(　)	(　100本　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		104本			
防災備蓄倉庫の整備箇所	目　標	(　)	(　1ヵ所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1ヵ所			
津波避難施設整備基本計画の策定	目　標	(　)	(　計画策定　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		策定済			

進捗状況説明：防災無線(緊急時一斉放送システム)屋外拡声子局及び戸別受信機の整備によって、未整備地区や難聴地区の防災情報伝達体制が整備された。避難所標識及び避難誘導標識の設置によって、迅速かつ適切な避難誘導体制が整備された。防災備蓄倉庫の整備によって、災害時応急対策が図れたことから、より災害につよいまちづくりが構築された。また、津波避難施設整備基本計画の策定によって、重点検討地区の把握され、津波避難に関する対応方策策定の基本的な方針を策定することができた。

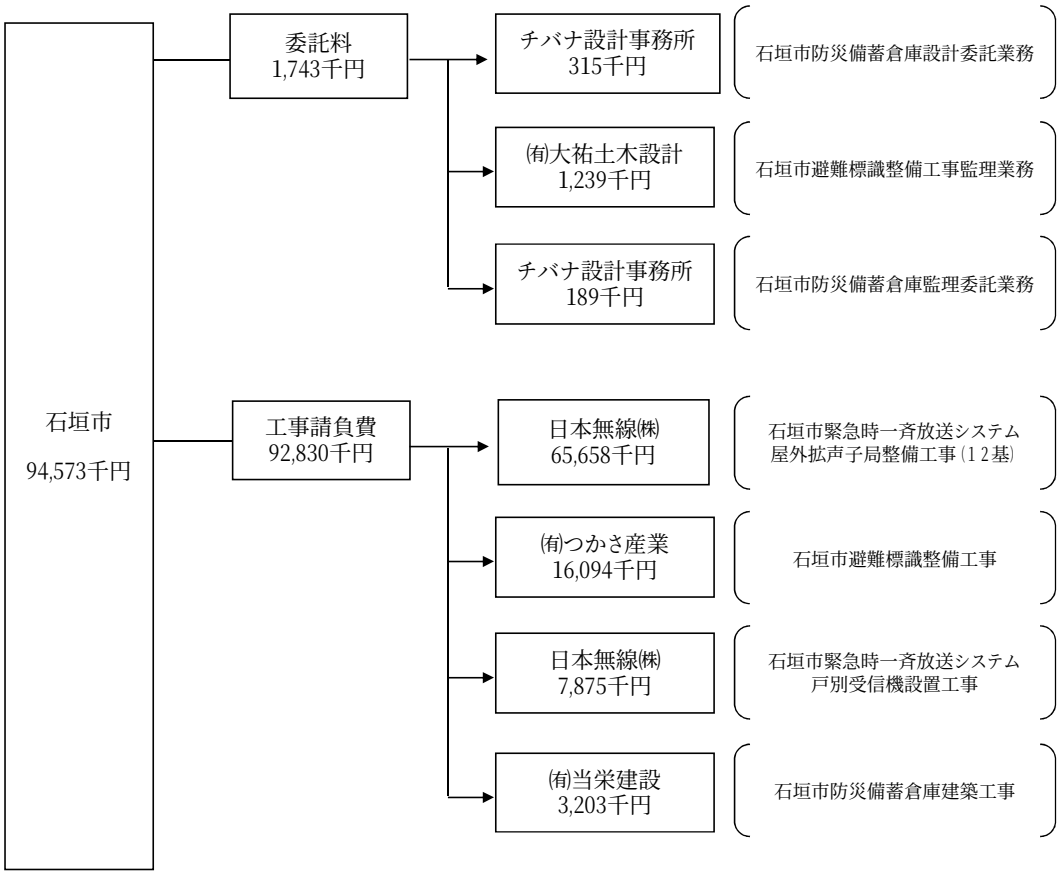
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	防災無線（緊急時一斉放送システム）屋外拡声子局、避難所標識及び避難誘導標識、、防災備蓄倉庫の整備にあたり、地域住民からの要望や整備箇所の選定に時間を要すること、整備箇所地権者や管理者との調整に時間を要し、着工が遅くなった。	防災無線（緊急時一斉放送システム）屋外拡声子局の設置候補地案の事前現地検証を行うことで、改善を図っていく。

今後の取り組み方針

１７７１年「明和の大津波」によって甚大な被害を被った本市において、津波対策が急務である。津波発生時に、地理的不案内者の災害時要援護者を含め迅速かつ適切な津波避難対策が必要となることから、防災情報伝達整備体制や避難誘導体制の整備拡充する。
Ｊ-ALERTと連携している防災無線（石垣市緊急時一斉放送システム）や小型受信機については、事前に音達調査の上、現地検証を行った上で、多様化システムによる難聴対策の整備検討も行い、未整備地区や難聴地区に対して優先順位つけ順次整備していく。
避難所標識及び避難誘導標識設置については、市民防災訓練による津波避難の検証結果に基づき設置検討を図ることと、津波一時避難ビルへの標識整備を実施する。
防災備蓄倉庫の整備については、石垣市地域防災計画に基づき、交通手段の遮断によって孤立が想定される北部地区及び西部地区に整備する。
今回策定の津波避難施設整備基本計画に基づき、重点検討地区でのワークショップなどを開催し、各地区毎の津波対策について検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
94,573	94,573	75,658	18,915	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○防災備蓄倉庫の設計、監理委託は、適正な業者と少額随意契約にて適正な処理を行った。それ以外の委託については全て適正な業者を選定し、指名競争入札を実施した、 ○工事請負事業についは、全て適正な業者を選定し、指名競争入札を実施した。 ○すべて費目･使徒は、事業目的に即し、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑤	水難事故対応強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－２－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	消防本部　総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－(2)
事業内容	市民や観光客による水難事故の発生時のため石垣島北西部･北部に在する消防出張所に必要資機材を配備し、事故発生時の対応能力の向上につなげる。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況 (a)当初予算額	14,937	0			
予算の状況 (b)予算現額	12,755	0			
予算の状況 (c)増減額(b-a)	▲ 2,182	0			
予算の状況 (d)繰越額	－	4,500			
予算の状況 A. 計(b+d)	12,755	4,500			
B. 執行済額	8,255	4,500			
うち交付金充当額	6,604	3,600			
次年度繰越額	4,500				
執行率（%）(B/A)	64.7%	100.0%			

予算の状況の説明：水上バイク及びトレラーの納品が次年度となったため繰越し事業となっている。
牽引車両及び水上バイク･トレーラーを一般競争入札を行ったことで2,180千円の減額が出ているが補正で処理している。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①水難救助用資機材の整備	目　標	1)水上バイク 2台 2)牽引車両 2台 3)トレーラー 2台	（　）	（　）	（　）
	実　績	1)水上バイク 2台 2)牽引車両 2台 3)トレーラー 2台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：活動目標である水難救助用資機材(伊原間･川平両出張所への水上バイク･トレーラー及び牽引車両)の配備が計画通り達成できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度		26年度	目標値(　年度)
①水難救助用資機材の整備	目　標	（1）	1)水上バイク 2台 2)牽引車両 2台 3)トレーラー 2台	）	（　）	（　）
	実　績		1)水上バイク 2台 2)牽引車両 2台 3)トレーラー 2台			
	目　標	（　）	（　）	）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本署のみの配備であった水上バイクを遠隔地の北部･西部地区(両出張所)へ配備した。これにより遠隔地で発生する水難事故への迅速な対応が可能になった。

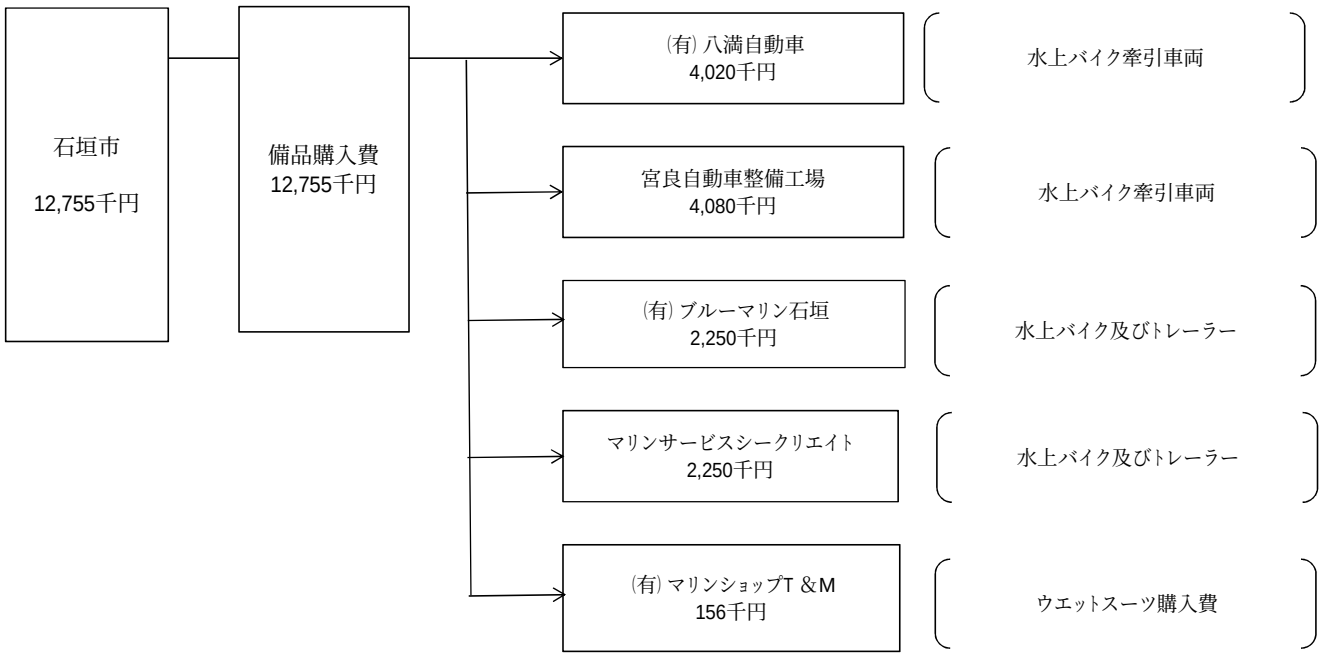
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	11月下旬に水上バイクの入札を行ったが、納品が次年度なったため繰越事業となってしまった。早目の取り組みが必要であった。 また水難事故発生時、ジェットスキーを下せる場所を把握し事故現場直近からの救助体制の確立を図ることで救助までの時間の短縮を図る。	伊原間･川平出張所に水上バイクが配備されたことから、管轄地区のダイビング業者及びマリン業者との連携を進め、事故防止及び事故対応時の応援体制等を築いていきたい。

今後の取り組み方針

平成24年度事業にて北部地区及び西部地区（両出張所）に水上バイクを配置したことで、北･西部地区の業者（ダイビングショップ等）との水難事故緊急連絡網の強化を図り、水難事故に迅速に対応することで、これまでよりも安心･安全な石垣市の建設に取り組み、その成果を内外に広く広報し観光振興等に寄与していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,755	12,755	10,204	2,551	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	牽引車両、水上バイク及びトレーラーの購入については、財務規則等に則り指名競争入札により支出先を決定しており、支出先の選定方法は適正であったと考えている。 費目･使途についても事業目的に合致しており適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	災害に備えた学校環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	災害に備え、沿岸部に近接している小学校、幼稚園の児童、園児及び職員へライフジャケットを配備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,541	-			
	(b)予算現額	14,540	-			
	(c)増減額(b-a)	▲1	-			
	(d)繰越額	―	8,653			
	A. 計(b+d)	14,540	8,653			
B. 執行済額		5,887	3,368			
うち交付金充当額		4,709	2,695			
次年度繰越額		8,653	-			
執行率（%）(B/A)		40.5%	38.9%			
予算の状況の説明		平成24年度中にライフジャケットの整備を行った。収納棚製作については、最も適切な場所へ設置するための協議を各学校毎に行ったため不測の日数を要し、棚製作への着手が遅れたため年度内完了が困難となり、平成25年度へ繰越して整備を行った。棚製作費については、天吊り型から床置き型へと変更し、現場に合わせた必要最小限の製品としたため当初見積もりより経費削減となり、3,368(千円)の執行残となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ライフジャケットの配備数	目　標	小学校:1,261枚 幼稚園:203枚 中学校:49枚	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校:1,376枚 幼稚園:229枚 中学校:64枚			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：児童、生徒、園児及び職員のライフジャケットを必要数確保した。また、緊急時に適応した適切な場所に収納棚を設置し、日常の避難訓練等に活用した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
ライフジャケットの配備数	目　標	（0）	（小学校:1,261枚 幼稚園:203枚 中学校:49枚）	（　）	（　）	（　）
	実　績		小学校:1,376枚 幼稚園:229枚 中学校:64枚			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当初計画に加え、新年度において園児、児童生徒数が増となった分を加算し、小学校6校、中学校1校、幼稚園6園に必要分すべて配付することができた。収納棚については各学校で必要な個所へ設置した。また、避難場所へ最短距離で避難できるよう、避難通路を整備した。

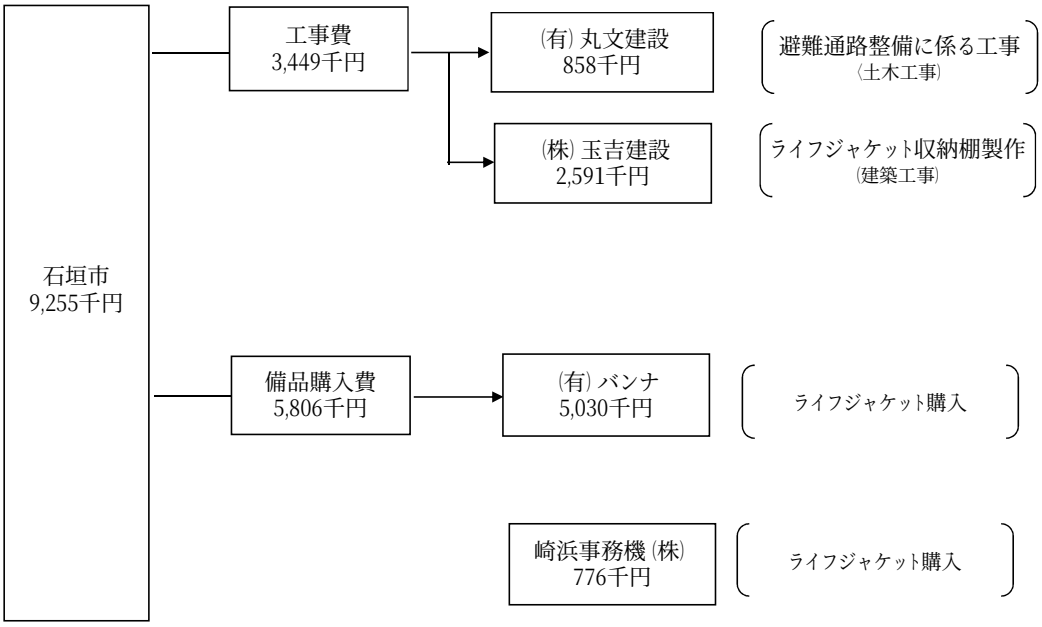
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	年度により、必要数の過不足が生じることが予想される。ライフジャケットの装着及び避難訓練の実施方法について、園児及び小学校低学年児童へは発育段階に応じた適切な指導が求められる。	数量の過不足、消耗による買い替え等、継続的に充足可能な予算確保に努める。また、避難訓練、避難場所への移動手段等、学校現場との連携が必要である。

今後の取り組み方針

各学校の訓練状況を検証し、あらたな課題については学校現場と連携し解消に向けた取り組みを行う。その他、効果の向上した事例については周知を図り、さらなる効率の向上に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,255	9,255	7,404	1,851	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○過去の実績等を勘案した上で業者選定しており、備品については指名競争入札、工事請負契約については、備品納入ﾒｰｶｰ規格にあった採寸にて棚を作成するため納入毎に随意契約とし、妥当であったと考えている。○工事費については必要最小限の整備であり、適正であった。 ○安全･安心な教育環境整備の観点から、妥当であると考えている。 ○事業目的達成の観点から必要なものに限定されていると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9－①	情報教育充実事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

情報教育環境として、学校全体で無線LANを構築し環境を整備する。各学校に電子黒板等を配備し、併せてそれを活用する機器を導入しICT教育環境及び情報教育への機会を充実させ、学力向上に努めることにより人材育成を図っていく。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	172,755	－			
	(b)予算現額	172,755	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	172,755			
	A．計(b+d)	172,755	172,755			
B．執行済額		0	161,942			
うち交付金充当額		0	129,552			
次年度繰越額		10,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	93.7%			

予算の状況の説明

・仕様書作成及び現地調査に不測の日数を要し、年度内執行が困難となったため全額を繰越した。また、執行残額10,813千円については、入札による執行残である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①小・中学校LANの整備　学校数	目　標	(1)小学校:16校 2)中学校:5校 3)併置校:4校)	( )	( )	( )
	実　績	1)小学校:16校 2)併置校:4校			
②電子黒板の配備	目　標	(255台)	( )	( )	( )
	実　績	284台整備			

達成状況説明

電子黒板等ICT環境整備に関する備品については当初計画に加え、デジタル教材での活用が大いに期待される理科教室と視聴覚教室を追加した284教室に整備する計画とした。校内無線LAN計画については、当初計画において積算過小であったため小学校のみの整備となった。入札執行残額での中学校整備についても検討したが、競争入札に付する適正な日数の確保が困難であるため未実施となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
①小・中学校LANの整備　学校数	目　標	(普通教室のみ:9校)	(1)小学校:16 2)中学校:5 3)併置校:4)	( )	( )	( )
	実　績		1)小学校:16校 2)併置校:4校			
②電子黒板の配備	目　標	(16台)	(255台)	( )	( )	( )
	実　績		284台			

進捗状況説明

電子黒板においては、全普通教室に加え、デジタル教材での活用が大いに期待される理科教室と視聴覚教室を追加した284教室に整備を行った。校内無線LAN環境については全小学校でのネットワーク環境が構築された。

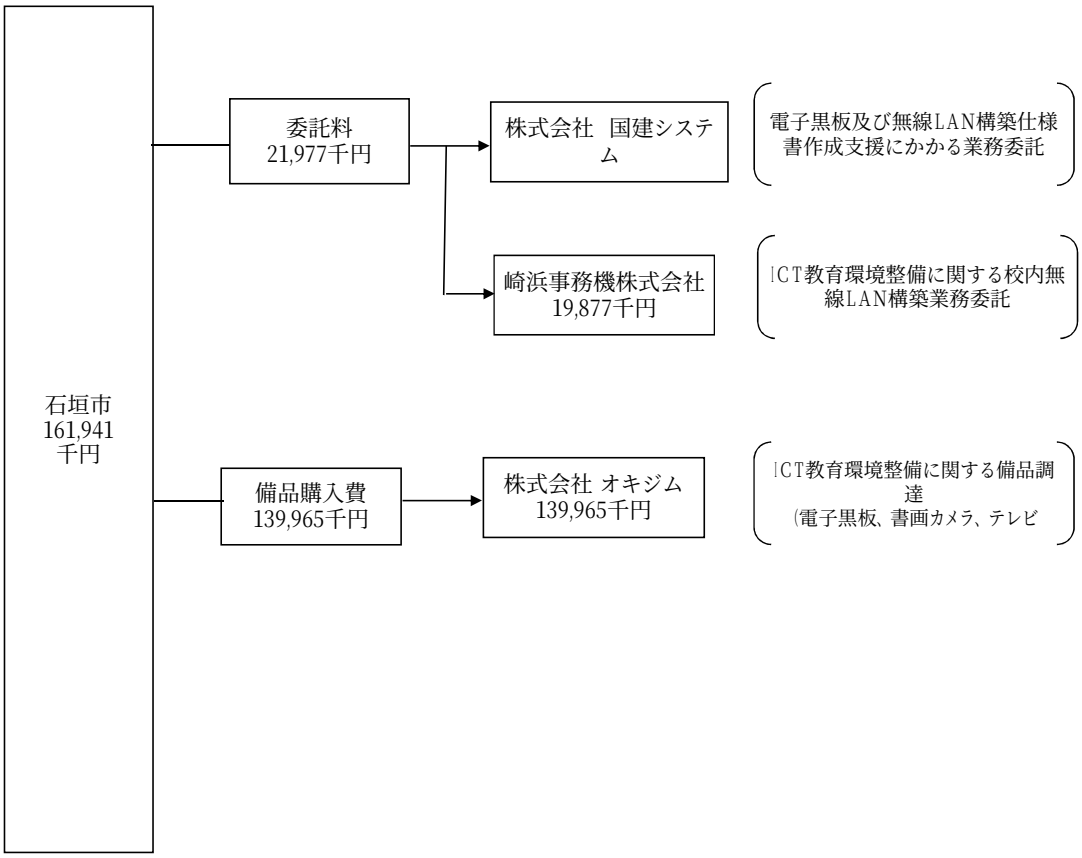
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初計画においてはデジタルテレビの活用であったが、ICT環境をより推進するため電子黒板への計画変更とした。このため、機種選定において機能、性能及び保守体制について仕様書検討に不測の日数を要したことから繰り越した。また、校内無線LANについては、当初計画段階での積算が過小であったため、中学校での環境整備、教材活用に必要なサーバー設置について達成することができなかった。	先行して導入した機器、無線LAN環境について、現場での実施検証が必要である。学校現場と連携し、より効率的・効果的な整備となるよう、必要な予算確保が求められる。また、IT指導員や推進するためのマンパワーを確保することにより、当初計画以上の達成が見込める。中学校の環境整備については、前述の検証をふまえ、次年度以降導入に向けた計画が必要。

今後の取り組み方針

平成26年度事業においては中学校の校内無線LAN環境整備及び教材サーバー設置、教育用コンピュータの不足分において新規購入について引き続き実施していくとともに、新たな充実プログラム（教材ソフト導入等）の検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
161,942	161,942	129,552	32,390	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実績、技術力等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○校内無線LAN構築、備品購入においては、指名競争入札を実施し、妥当であったと考えている。委託については、内容と規模について沖縄県内でも事例がないことから専門的な知識、技術力及び実績のある業者のうち、学校施設において実績のある業者と随意契約を締結した。 ○学力向上を目指す本市の取り組みにおいて、環境整備の観点から妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要最小限度に限定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	